



株式会社アイケイコーポレーション

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階
TEL03-6803-8811 FAX03-3409-5050

株主の皆様のお声を聞かせ下さい

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答下さい。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ですが、アンケートへのご協力を願います。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円分)を贈呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **3377**

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索して下さい。



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信して下さい(タイトル、本文は無記入)。アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

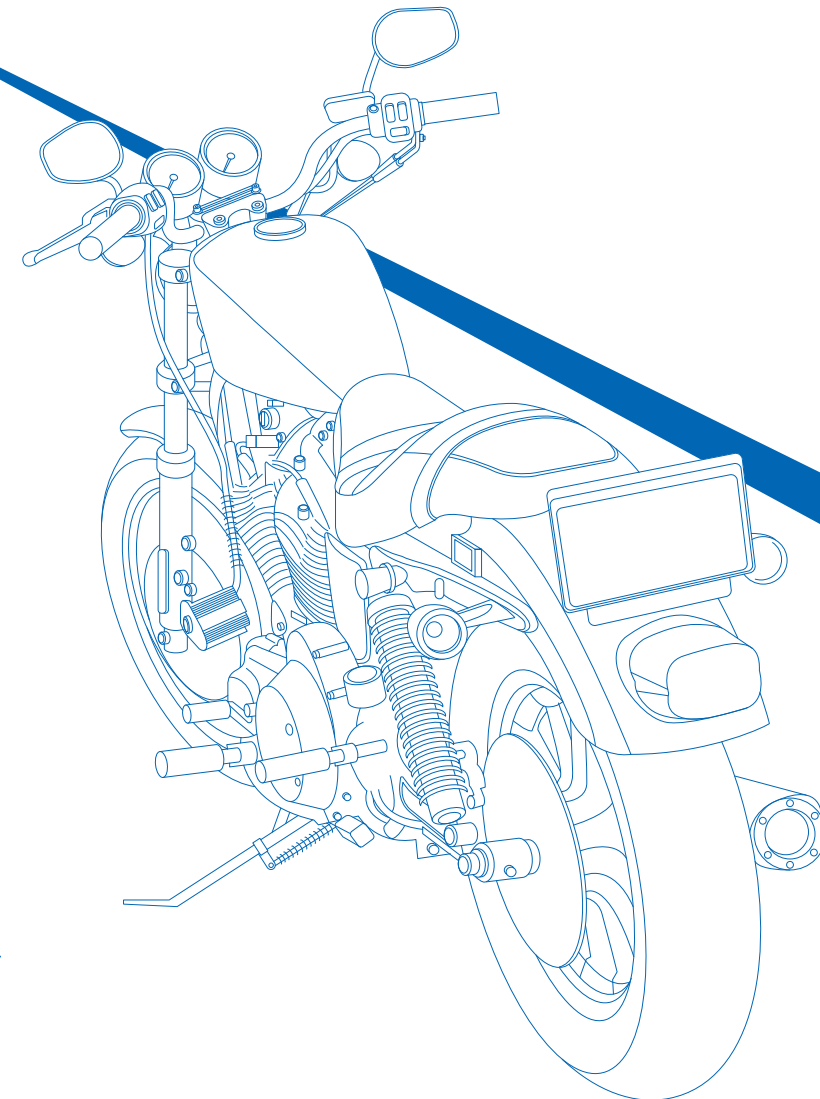
株主の皆様へ

第12期 株主通信

2009年9月1日~2010年8月31日



株式会社アイケイコーポレーション



ご挨拶



代表取締役社長 加藤 義博
取締役会長 石川 秋彦

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第12期株主通信をお届けするにあたり、改めて皆様の日頃のご支援に深く感謝申し上げます。

第12期におきましては、増収増益となりましたが、中間、通期と業績予想を修正することとなりました。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を謹んでお願い申し上げます。



第12期(2010年8月期)業績の概況について

第12期における経済環境は、一部に景気持ち直しの兆しが見られたものの、厳しい雇用情勢が続き、個人消費は依然として低調に推移したことに加え、国内のデフレ経済が進展する等、本格的な景気回復には至らず、企業をとりまく環境は引き続き厳しいものとなりました。

当社コアビジネスである中古オートバイ買取販売においても、従来からの積極的な広告展開や多店舗展開による認知度・信用力の向上に加え、効率的な広告出稿を実施したことにより、販売台数が増加いたしました。第11期に低迷したオークション相場は、2010年1月以降、回復の兆しが一時的に見られたものの、依然として不透明な状況が続きました。当社としては、粗利額確保の施策として買取価格のコントロールを一層強化したものの、平均売上単価(一台当たりの売上高)ならびに平均粗利額(一台当たりの粗利額)が低下いたしました。

オートバイ小売販売に関しては、新ブランド「バイク王ダイレクトSHOP」を中心に、積極的な販売活動、小売販売店のブランディング強化および将来的な多店舗展開を視野に入れた基礎

構築を進めてまいりました。

また、オートバイ駐車場事業においては、収益性を重視した事業地展開に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高24,176百万円(前期比2.9%増)、営業利益708百万円(同9.6%増)、経常利益732百万円(同9.0%増)、当期純利益312百万円(同24.4%増)となりました。



今後の取組みについて

中古オートバイ買取販売を当社のコアビジネスとして位置づけ、利益構造の改善を図ってまいります。なお、販売台数は直近のお申し込み件数の状況を踏まえ第12期実績と同水準を見込んでおります。また、現状のオークション相場に不透明感が残ることを踏まえ、相場の回復は織り込まず、引き続き粗利額確保の施策を実施することで対応いたします。

オートバイ小売販売は、小売店舗のスクラップ&ビルドを実施し、将来的な多店舗展開へ向けて店舗パッケージの検証を図っ

てまいります。

オートバイ駐車場事業は、引き続き採算性を重視した事業地開発を実施することで、事業地開発と損益のバランスのとれた体制を構築してまいります。



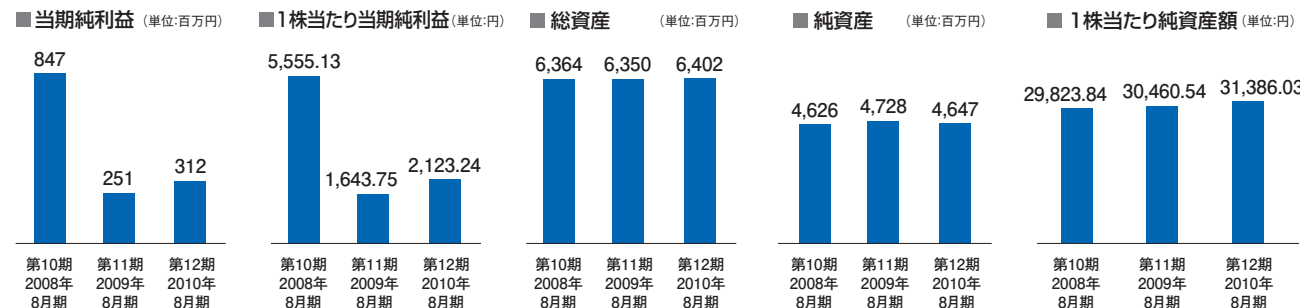
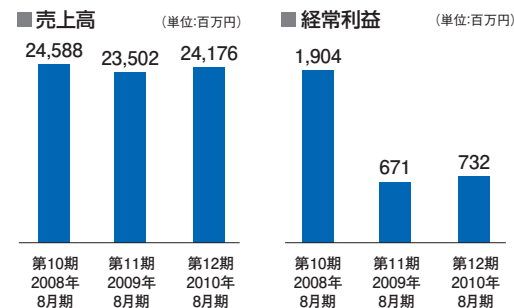
決算期の変更について

第13期につきましては、決算期を変更(11月決算)したことにより、2010年9月1日から11月30日までの3ヶ月決算となります。これにともない、配当予想につきましても、第12期1株当たり年間(12ヶ月)1,200円の配当継続を前提に、3ヶ月分に当たる300円を予定しております。

当社グループは、「オートバイライフの総合プランナー」の実現に向け、オートバイユーザーの皆様が、より快適に、より安心してオートバイライフを満喫できるよう全力でサポートするとともに、社会に愛される企業を目指し、市場の活性化、リユース・リサイクルを通じた社会・環境問題に貢献してまいります。

2010年11月

連結財務ハイライト





「オートバイライフの総合プランナー」実現に向けて

買取販売店



全国の各店舗からお客様のご自宅へ、ご指定の時間に専門の査定員が訪問する無料出張買取。独自開発のITシステム「i-kiss」に支えられた全国統一の査定基準による明瞭かつ適正な買取価格の提示。トラブルのない現金決済。当社は、常にオートバイユーザーの立場で考え、その利便性を徹底的に追求してまいりました。お客様本位のサービスをお届けし、ユーザーに信頼され選ばれるブランドであるべく、スタッフ一丸となって日々の業務に取り組んでいます。



※出典元:
株式会社矢野経済研究所調べ
(2010年4月現在)



バイク買取専門店 バイク王 の強み

ポイント1 24時間365日受付

インフォメーションセンターにおける24時間365日無休の申し込み受付。「今すぐ」というご要望にもクイックレスポンスでお応えします。



ポイント2 無料出張買取

お客様がご希望の日時に、ご自宅へ査定員が訪問します。小型パソコンで査定し、成約の場合はその場で現金決済を行います。



ポイント3 手続き代行

お譲りいただいたオートバイに関する名義変更、廃車手続きなど、売却時に発生する煩雑な手続きを無料で代行します。



ポイント4 全国展開

「全国どこへでも無料出張買取」を可能にしたスケールメリットを活かし、お客様への迅速な対応を行うほか、看板効果による認知度拡大にも努めています。



小売販売店



高い認知度を誇る「バイク王」のブランド力を源泉に、全てのオートバイユーザーをターゲットとした小売販売店。豊富な取扱車両、市場を加味したリーズナブルな価格、「バイク王」と連携した独自のサービスを展開し、ユーザーと「ダイレクト」に結ばれるオートバイショップを目指します。



オートバイ駐車場



時代のニーズに合わせた、都市型展開のオートバイ駐車場。時間貸し、月極の両面からユーザーをサポート。交通環境の整備促進、違法駐車の高減にも寄与。狭小地、変形地などの有効活用も可能な公共性の高い事業です。



パーツ販売店



「バイク王」の直営店としてオープンしたパーツ専門店。中古パーツはもちろん、新品、アウトレット商品の品揃えも充実しています。店舗には整備ブースも完備しているため、商品もその場で取り付けることが可能。店舗販売のほか、WEB販売も行っています。



海外取引



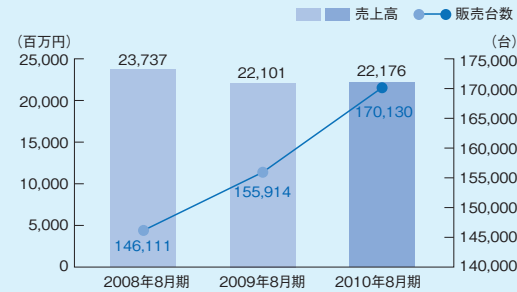
各国のニーズに応じた販路を、新たに開拓するための海外取引ブランド。海外マーケットでの、個人・法人をターゲットとした新たなビジネスを模索しています。

バイク買取専門店 バイク王

買取販売

売上高 22,176百万円 (前期比0.3%増)
 売上総利益 11,988百万円 (前期比1.0%増)
 経常利益 832百万円 (前期比0.8%減)

売上高/販売台数の推移



オートバイ買取専門店「バイク王」を運営する買取販売につきましては、第12期において、従来からの積極的な広告展開および、多店舗展開による認知度・信用力の向上に加え、効率的な広告出稿を実施したことにより、販売台数が増加いたしました。

しかしながら、当社グループの主たる販売先(出品先)である中古オートバイオークション市場において、第11期に低迷したオークション相場は、2010年1月以降、オークション相場に回復の兆しが一時的に見られたものの、依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社は、粗利額確保の施策として、買取価格のコントロールを強化したものの、平均売上単価(一台当たりの売上高)ならびに平均粗利額(一台当たりの粗利額)が低下いたしました。

主要指標(買取販売)

	2009年8月期	2010年8月期	前期比
広告宣伝費	3,611百万円	3,673百万円	1.7%増
買取成約率	85.0%	83.9%	1.3%減
販売台数	155,914台	170,130台	9.1%増
平均売上単価	139,554円	127,857円	8.4%減
平均粗利額	74,734円	68,739円	8.0%減
店舗数(バイク王)	100店舗	100店舗	—

その結果、売上高22,176百万円(前期比0.3%増)、経常利益832百万円(同0.8%減)となりました。

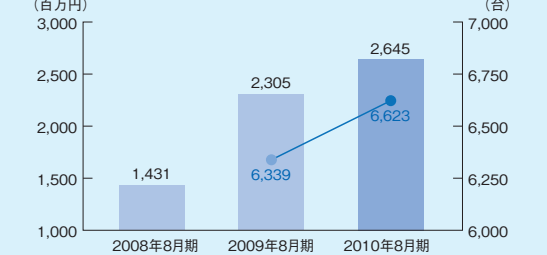


バイク王 バイク直接SHOP

小売販売

売上高 2,645百万円 (前期比14.7%増)
 売上総利益 804百万円 (前期比13.3%増)
 経常利益 ▲58百万円 (前期比74百万円増)

売上高/販売台数の推移



新ブランド「バイク王バイク直接SHOP」を運営する小売販売につきましては、積極的な販売活動、小売販売店のブランディング強化および将来的な多店舗展開を視野に入れた基礎構築を進めてまいりました。その結果、販売台数が6,623台(前期比4.5%増)となり、売上高2,645百万円(同14.7%増)、経常利益▲58百万円(前期比74百万円増)となりました。

主要指標(小売販売)

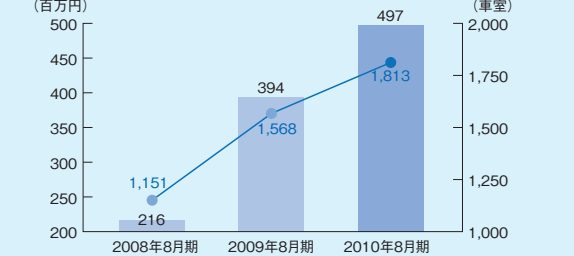
	2009年8月期	2010年8月期	前期比
販売台数	6,339台	6,623台	4.5%増
平均売上単価	334,170円	362,234円	8.4%増
平均粗利額	98,176円	101,078円	3.0%増
店舗数(バイク直接SHOP)	10店舗	10店舗	—

BIKE PARKING パーク王

駐車場

売上高 497百万円 (前期比26.2%増)
 売上総利益 70百万円 (前期比43.1%増)
 当期純利益 6百万円 (前期比22百万円増)

売上高/駐車場車室数の推移



駐車場事業を展開する子会社パーク王につきましては、採算性を重視した事業地開発を行った結果、事業地数が150事業地(前期比15.4%増)、駐車場車室数が1,813車室(同15.6%増)となりました。その結果、売上高497百万円(同26.2%増)、当期純利益6百万円となり、通期を通して初の黒字で着地いたしました。

主要指標(駐車場)

	2009年8月期	2010年8月期	前期比
事業地数	130事業地	150事業地	15.4%増
駐車場車室数	1,568車室	1,813車室	15.6%増



今後1年間の課題について(2010年9月1日～2011年8月31日)

※2ページの今後の取組みを踏まえ、今後1年間の連結業績予想は減収減益を予想しておりますが、以下を課題として位置づけています。

買取販売 利益構造の改善を目指します

- 一台当たりの広告費の改善
- 一人当たりの取扱台数の検証
- 一台当たりの買取から出品に至るコストの改善
- 一店舗当たりの取扱台数の検証

小売販売 多店舗展開へ向けた店舗パッケージの検証

- 小売店舗のスクラップ&ビルド実施(優良店舗以外の4店舗を閉鎖。優良店舗を標準パッケージ化し、3店舗を新規出店)

駐 車 場 事業地展開の見直し

- 前期までは、長期の安定的な事業拡大を主眼に長期契約事業地を中心に開発
→ 短期契約事業地を織り交ぜた開発に戻すことの検証

今後1年間の業績予想(2010年9月1日～2011年8月31日)

	第13期 (2010年11月期) (2010年9月1日～2010年11月30日)		12ヶ月に相当する期間 (2010年9月1日～2011年8月31日)	
連結業績				
売上高	5,281百万円	前期比 7.9% 減	23,857百万円	前期比 1.3% 減
売上総利益	2,844百万円	前期比 0.1% 増	13,101百万円	前期比 1.9% 増
販売費及び一般管理費	3,200百万円	前期比 2.9% 増	12,683百万円	前期比 4.4% 増
営業利益	△ 355百万円	—	418百万円	前期比 41.0% 減
経常利益	△ 366百万円	—	442百万円	前期比 39.5% 減
当期純利益	△ 304百万円	—	142百万円	前期比 54.5% 減
買取販売				
売上高	4,754百万円	前期比 8.6% 減	21,411百万円	前期比 2.5% 減
経常利益	△ 355百万円	—	347百万円	前期比 46.3% 減
小売販売				
売上高	650百万円	前期比 1.6% 増	3,125百万円	前期比 9.6% 増
経常利益	△ 7百万円	—	83百万円	前期比 18.6% 増
駐 車 場 (パーク王)				
売上高	135百万円	前期比 0.3% 減	648百万円	前期比 30.2% 増
経常利益	△ 3百万円	—	11百万円	前期比 19.4% 減

※ 前期比につきましては、第12期(2010年8月期)実績を新セグメントに組み替えて計算しております。



決算期の変更をいたしました(第13期は2010年9月1日～11月30日の3ヶ月決算)

事業年度の末日を8月31日から11月30日に変更

決算期変更の理由

オートバイ業界における季節変動およびマーケット環境の変化等にもとない利益面における上期・下期の偏重が拡大していることを踏まえ、その偏重を是正し、投資家の皆様に当社の決算状況をよりご理解いただくため、変更いたしました。



事業区分を変更いたしました

企業会計基準第17号「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の公表および、四半期会計基準のセグメント情報等の開示に関する記載の改正に併せて、2010年11月期より、当社においても、現状の会社の組織形態、報告形態や製品およびサービスの提供方法等を鑑み、より適切な開示を行うため、下記のとおり、決算短信等のセグメント区分を変更し、これに併せて決算説明資料の事業区分を変更いたします。



※1 無料出張買取サービスにより中古オートバイを仕入、業者専門オークションへ出品・販売する「買取販売事業」

※2 中古オートバイおよび中古オートバイパーツを小売販売する「小売販売事業」 ※3 オートバイおよびクルマの駐車を提供する「駐車場事業」

連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	第11期 (2009年8月31日現在)	第12期 (2010年8月31日現在)
●資産の部		
流動資産	4,656,515	4,858,503
現金及び預金	3,337,456	3,275,038
売掛金	159,202	354,506
商品	772,564	816,935
貯蔵品	21,955	28,531
前払費用	234,230	221,978
繰延税金資産	42,901	61,054
その他	88,627	101,551
貸倒引当金	△424	△1,091
固定資産	1,694,335	1,544,207
有形固定資産	895,346	706,942
建物及び構築物	601,982	460,392
車両運搬具	62,224	34,121
リース資産	138,983	157,343
その他	79,650	55,085
建設仮勘定	12,506	—
無形固定資産	139,431	150,873
ソフトウェア	119,605	137,532
その他	19,825	13,340
投資その他の資産	659,557	686,391
繰延税金資産	104,761	122,223
敷金及び保証金	520,252	527,505
その他	50,112	42,170
貸倒引当金	△15,569	△5,508
資産合計	6,350,850	6,402,711

科目	第11期 (2009年8月31日現在)	第12期 (2010年8月31日現在)
●負債の部		
流動負債	1,466,106	1,591,707
買掛金	83,314	74,699
短期借入金	238,000	238,000
リース債務	34,864	47,665
未払金	528,048	545,363
未払法人税等	284,180	334,680
その他	297,699	351,299
固定負債	156,176	163,243
リース債務	117,418	127,328
その他	38,757	35,915
負債合計	1,622,282	1,754,951
●純資産の部		
株主資本	4,657,154	4,579,357
資本金	585,650	585,650
資本剰余金	605,272	605,272
利益剰余金	3,466,230	3,599,487
自己株式	—	△211,053
評価・換算差額等	△1,077	△1,515
為替換算調整勘定	△1,077	△1,515
新株予約権	72,492	69,918
純資産合計	4,728,568	4,647,759
負債純資産合計	6,350,850	6,402,711

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	第11期 (2008年9月1日から 2009年8月31日まで)	第12期 (2009年9月1日から 2010年8月31日まで)
売上高	23,502,365	24,176,839
売上原価	10,870,124	11,308,810
売上総利益	12,632,240	12,868,028
販売費及び一般管理費	11,985,698	12,159,720
営業利益	646,542	708,308
営業外収益	74,700	94,518
営業外費用	49,301	70,482
経常利益	671,941	732,344
特別利益	1,438	10,661
特別損失	83,163	135,104
税金等調整前当期純利益	590,216	607,901
法人税等	338,959	295,417
当期純利益	251,257	312,484

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	第11期 (2008年9月1日から 2009年8月31日まで)	第12期 (2009年9月1日から 2010年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	247,611	588,542
投資活動によるキャッシュ・フロー	△328,447	△222,677
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,310	△428,283
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△272,145	△62,418
現金及び現金同等物の期首残高	3,609,602	3,337,456
現金及び現金同等物の期末残高	3,337,456	3,275,038

■事業の種類別セグメント情報

(単位:千円)

	中古オートバイ 買取販売事業	オートバイ 駐車場事業	消去又は 全社	合計
売上高	23,679,815	497,803	△780	24,176,839
営業利益(△損失)	706,220	△2,216	4,304	708,308

連結株主資本等変動計算書

第12期(2009年9月1日から2010年8月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2009年8月31日残高	585,650	605,272	3,466,230	—	4,657,154	△1,077	△1,077	72,492	4,728,568
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△179,227		△179,227				△179,227
当期純利益			312,484		312,484				312,484
自己株式の取得				△211,053	△211,053				△211,053
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					—	△438	△438	△2,573	△3,012
連結会計年度中の変動額合計	—	—	133,256	△211,053	△77,796	△438	△438	△2,573	△80,808
2010年8月31日残高	585,650	605,272	3,599,487	△211,053	4,579,357	△1,515	△1,515	69,918	4,647,759

🏍️ 会社概要 (2010年8月31日現在)

商号	株式会社アイケイコーポレーション
本社所在地	〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階
事業内容	オートバイの新しい流通システムを提案する 「バイク買取専門店」の経営
設立	1998年9月(創業1994年9月)
資本金	585,650千円
連結従業員数	941名 / 平均年齢29.8歳(個別)

🏍️ 役員 (2010年11月25日現在)

取締役会長	石川 秋彦	常勤監査役	増淵 洋吉
代表取締役社長	加藤 義博	監査役	諏訪 浩
取締役副社長	大谷 真樹	監査役	山口 達郎
取締役	山縣 俊		

🏍️ 株主メモ

事業年度 ^{*1}	12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
定時株主総会の基準日	11月30日
剰余金の配当基準日 ^{*1}	
期末配当	11月30日
中間配当	5月31日
株主名簿管理人 ^{*2}	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告方法	当社ウェブサイト (http://www.ikco.co.jp/) もしくは日本経済新聞

※1 第13期は、平成22年9月1日から平成22年11月30日までの3ヶ月決算となります。
※2 当社は平成22年11月26日付で株主名簿管理人をみずほ信託銀行から三菱UFJ信託銀行へ変更いたしました。詳細は同封の「株主名簿管理人変更のお知らせ」をご確認ください。

🏍️ 株式の状況 (2010年8月31日現在)

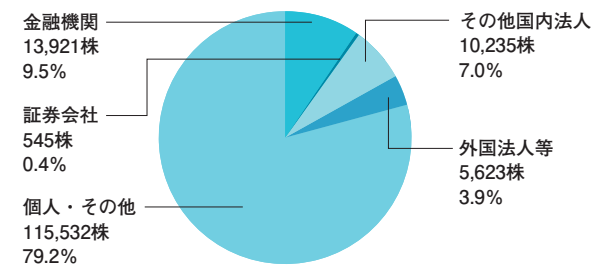
発行可能株式総数	普通株式	600,000株
発行済株式の総数	普通株式	152,856株 (自己株式7,000株を含む)
株主数		2,460名

🏍️ 大株主 (上位10名) (2010年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
石川秋彦	39,229株	26.9%
加藤義博	35,282	24.2
有限会社ケイ	9,000	6.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,248	5.7
石川ゆかり	7,980	5.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,597	2.5
アイケイコーポレーション従業員持株会	3,025	2.1
大谷真樹	2,951	2.0
加藤信子	2,940	2.0
松山太河	2,741	1.9

※1 当社は、自己株式を7,000株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※2 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
※3 持株比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

🏍️ 所有者別株式分布状況



※1 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
※2 持株比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

🏍️ ネットワーク (2010年10月1日現在)

- 本社
〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階
- インフォメーションセンター
- 第二インフォメーションセンター
- 横浜物流センター
- 柏物流センター
- さいたま物流センター
- 筑波物流センター
- 名古屋物流センター
- 大阪物流センター
- 福岡物流センター

近畿エリア

- バイク王 18店舗
- バイク王 SHUJI-SHOP 1店舗
- 物流センター 1拠点

中国エリア

- バイク王 5店舗

九州エリア

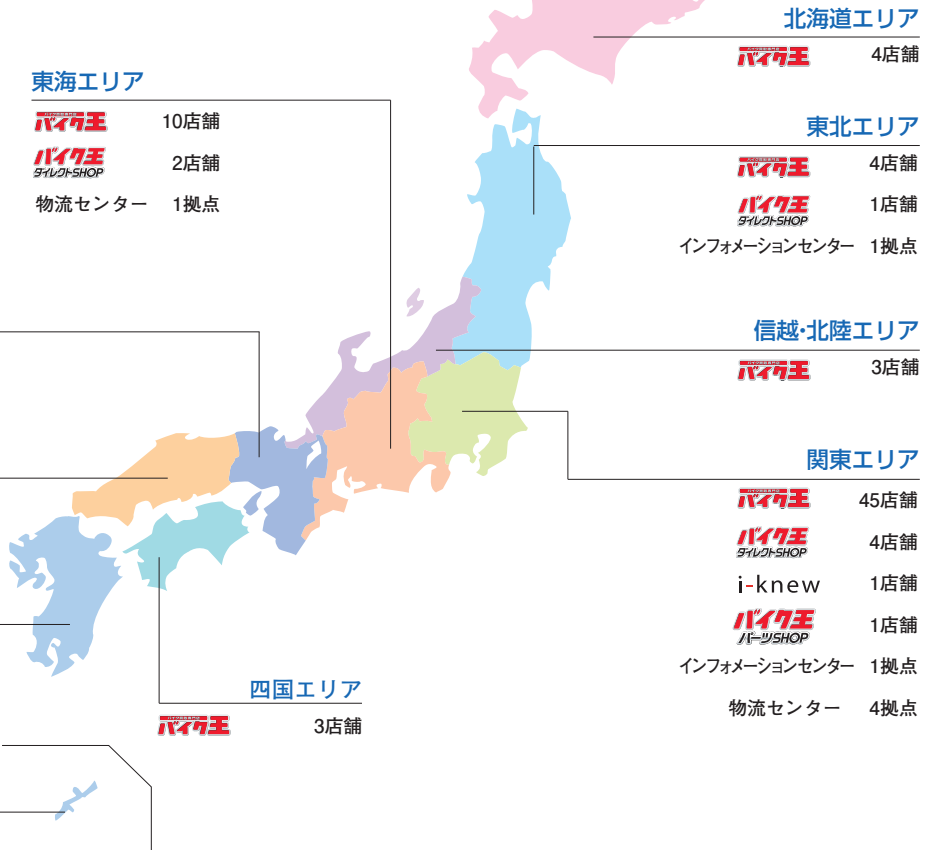
- バイク王 7店舗
- バイク王 SHUJI-SHOP 1店舗
- 物流センター 1拠点

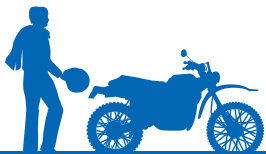
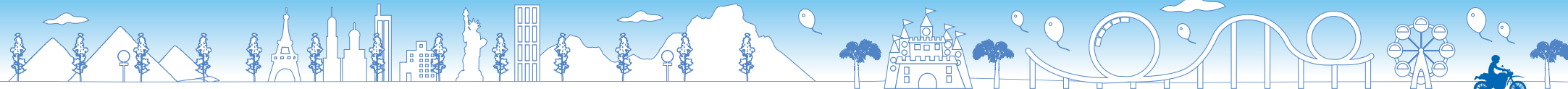
沖縄エリア

- バイク王 1店舗

東海エリア

- バイク王 10店舗
- バイク王 SHUJI-SHOP 2店舗
- 物流センター 1拠点



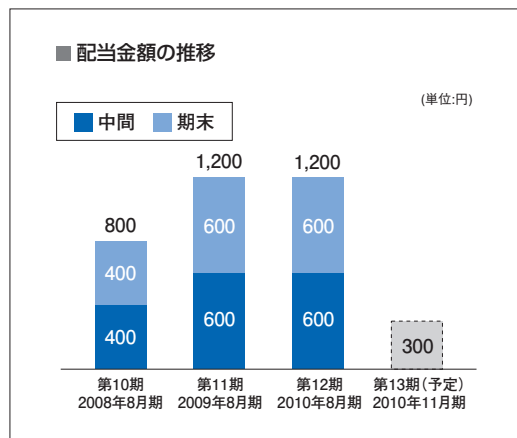


株主還元について

配当につきましては、安定的な配当を行うことを念頭に置きつつ、業績等を勘案したうえで配当金額を決定しております。

第12期につきましては、このような方針を維持しつつ、株主の皆様への利益還元を充実させるという観点から、1株当たり配当金は、年間1,200円(第2四半期末600円、期末600円)とさせていただきます。

第13期におきましては、決算期変更の経過期間となり3ヶ月決算となりますので、第12期1株当たり年間(12ヶ月)1,200円の配当の継続を前提に、3ヶ月分に当たる300円を予定しております。



自己株式の取得について

■ 自己株式取得終了のお知らせ

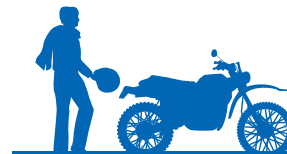
2009年9月28日開催の取締役会の決議による自己株式の取得は以下のとおり全て終了いたしました。

取得した株式の種類	普通株式
取得した株式の総数	7,000株 (発行済株式総数に対する割合4.58%)
株式の取得価額の総額	211,053,800円
取得期間	2009年10月15日～ 2009年12月8日(約定ベース)
取得方法	東京証券取引所における市場買付

■ 自己株式取得のお知らせ

2010年10月4日開催の取締役会で決議・発表いたしましたとおり経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするため、以下の通り自己株式の取得を実施します。

取得対象の株式の種類	普通株式
取得し得る株式の総数	8,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合5.48%)
株式の取得価額の総額	400,000,000円(上限)
取得期間	2010年10月14日～ 2011年2月21日
取得方法	市場取引(立会外取引を含む)



今後も株主様のニーズにお応えし、IR情報の拡充に努めてまいります

<http://www.ikco.co.jp/ir/>



② 新たにIRメルマガ情報を追加いたしました。

決算短信・四半期報告書、月次開示など主要なIR情報を配信いたします。

③ 月次情報の開示

主要な経営指標の月次開示情報を公開しております。



① IRライブラリー

決算短信・四半期報告書だけでなく、四半期毎の決算説明資料等を参照いただけます。決算説明会の動画を配信しております。

